

第 1 節 港 湾

1 港湾の概要

本県には、重要港湾が3港(秋田港、船川港、能代港)、地方港湾が2港(本荘港、戸賀港)あり、県が港湾管理者として施設整備や管理運営を行っています。

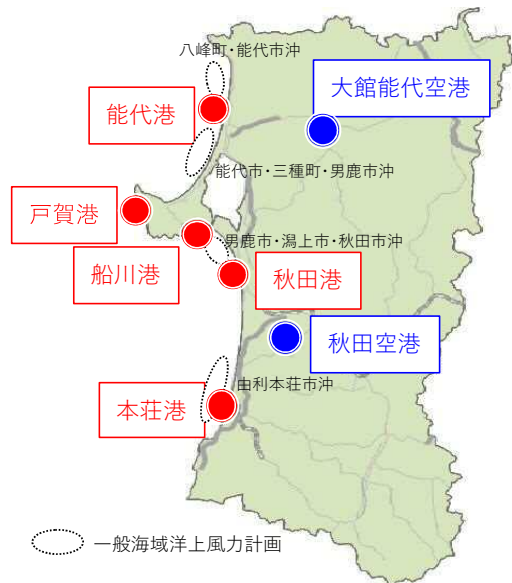
秋田港は、中国・韓国との外貿コンテナ航路、北海道・北陸との内航フェリー航路及び背後の道路網等により、秋田県の産業を支える重要な物流拠点となっています。また、クルーズ船受入による観光振興や、災害時の緊急物資輸送拠点としての役割のほか、洋上風力発電の基地港湾としての役割も担っています。

船川港は男鹿地域の物流港として、また、国家石油備蓄基地としての役割を担っています。

能代港は、大規模な火力発電所が立地するなど、県北部のエネルギー拠点として、また、リサイクルポート(総合静脈物流拠点港)としての役割のほか、秋田港と同様に洋上風力発電の基地港湾としての役割も担っています。

地方港湾の本荘港及び戸賀港は、海洋性レクリエーション基地・観光振興基地として利用されています。

◆ 港湾・空港位置図



基地港湾

○洋上風力発電設備の設置及び維持管理においては、重厚長大な資機材を取扱う耐荷重・広さを備えた埠頭(岸壁・荷さばき地)が必要となる。

○国が基地港湾を指定し、再エネ海域利用法に基づく選定事業者等に対し埠頭を長期・安定的に貸し付ける制度を創設。(令和2年2月施行改正港湾法)

秋田県沿岸における洋上風力発電の進捗状況

事業段階	事業箇所
①事業中	秋田港、能代港 (R4.12運転開始予定)
②事業者選定済	能代市・三種町・男鹿市沖(R3.12) 由利本荘市沖(R3.12)
③公募評価基準 見直し中	八峰町・能代市沖 (R3.12公募開始、R4.3見直し発表)
④有望な区域	男鹿市・湯上市・秋田市沖(R3.9)

2 各港の整備方針と事業計画

■ 秋田港

国際海上コンテナやフェリー貨物の取扱いに加え、洋上風力発電設備を取り扱う基地港湾として、日本海側の拠点となるよう機能の強化を図るほか、クルーズ船の受入環境の整備を行います。

[令和4年度主要事業]

航行船舶の安全を確保するため、防波堤等の外郭施設の整備及び泊地浚渫等を行います。また、埠頭用地の整備を推進します。



秋田港全景(令和3年7月撮影)

■船川港

港湾利用者等の利便性向上を図るため、港湾施設整備を推進します。また、港湾施設の計画的な老朽化対策を推進します。

[令和4年度主要事業]

係留施設の改良を実施します。



船川港全景(令和3年7月撮影)

■能代港

地域産業の振興に貢献するとともに、洋上風力発電設備を取り扱う基地港湾として機能強化を図るため、施設の整備を推進します。

[令和4年度主要事業]

洋上風力発電事業の促進に向けた環境整備として、岸壁及び埠頭用地の整備を推進します。

また、航行船舶の安全の確保や港湾利用者の利便性を向上するため、防波堤の改良、航路浚渫及び臨港道路舗装補修を推進します。



能代港全景(令和3年7月撮影)

■本荘港

港湾利用者の利便性向上を図るための施設管理、及び、施設の計画的な老朽化対策を推進します。

[令和4年度主要事業]

泊地浚渫、施設の維持管理等を実施します。



本荘港全景(令和3年7月撮影)

■戸賀港

港湾利用者の利便性向上を図るための施設管理、及び、施設の計画的な老朽化対策を推進します。

[令和4年度主要事業]

施設の維持管理等を実施します。



戸賀港全景(令和3年7月撮影)

3 環日本海クルーズ振興の推進

本県におけるクルーズ船の寄港回復に向けて、官民協働組織の「あきたクルーズ振興協議会」を核とした受入態勢を強化し、クルーズ振興を推進します。

[令和4年度主要事業]

「クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン」(公益社団法人 日本港湾協会)等に基づいて、保健所をはじめとする受入関係者との連携を図りながら、港における新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策を適切に講じ、安全・安心な寄港受入に努めます。

また、新型コロナウイルス収束後における本県への寄港回復を図るため、船社等の招聘などにより寄港を働きかけるほか、情報発信に努めます。

■ 官民協働組織による受入態勢の強化

あきたクルーズ振興協議会

幹事会

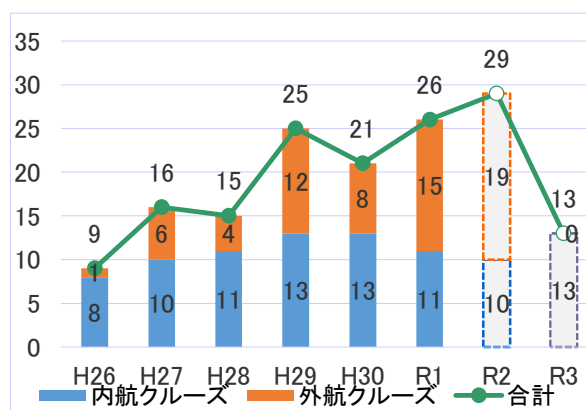
- 平成29年3月21日、設立
- 会長は知事、事務局は港湾空港課
- 令和4年4月1日現在、46団体加盟

ワーキンググループ

- ①クルーズ列車ワーキング
- ②コンテンツ開発・営業ワーキング
- ③外国人受入ワーキング
- ④ファーストポート受入ワーキング
- ⑤船内ゴミ受入ワーキング
- ⑥クルーズ船受入に係る新型コロナウイルス感染症対策等会議

■ 寄港実績

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、令和3年度の寄港実績はゼロ回となりましたが、寄港回復に向けて情報発信等に努めていきます。



■ 寄港地観光の充実

クルーズ列車の運行による二次交通の確保と、寄港地観光の充実を図ります。



■ 寄港回復に向けた誘致活動

船社等の招聘を行い、本県への寄港を直接的に働きかけます。



第 2 節 空 港

1 秋田空港の概要

本空港は、県央部の秋田市雄和椿川に位置し、面積約160ha、長さ2,500mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。

昭和56年6月26日に開港し、就航路線は、東京、大阪、札幌及び名古屋の4路線であり、広域交通の拠点として定着しています。また空港周辺は、580haの広大な県立公園として整備され、緑豊かな都市公園型空港となっています。



秋田空港全景

◆空港施設の概要

設置者	国土交通大臣	場周道路	長／6,455m 幅／5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	69,449㎡(3,105台)
空港の名称	秋田空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田市雄和椿川	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME (超短波全方向式無線標識／距離測定装置)
空港の標点	北緯39° 36′ 56″ 東経140° 13′ 07″		
空港の標高	93.05m	庁舎管制塔	一式
空港の種別	特定地方管理空港	通信施設	一式
空港の総面積	1,589,656㎡	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計)
着陸帯	長／2,620m 幅／300m	消防施設	40t水槽8基(化学消防車3台)
滑走路	長／2,500m 幅／60m	防雪施設	除雪機械等一式
誘導路	長／2,830m 幅／30～34m	ターミナルビル	国内線棟3階建(10,995㎡)国際線棟(一部3階建3,620㎡)
エプロン	長／310m 幅／190m(5バース)	貨物ビル	2棟
排水施設	一式	給油施設	200kl／2基
		燻蒸・焼却施設	一式

[令和4年度主要事業]

空港の機能維持のため、老朽化した滑走路の舗装改良や除雪車両の更新を行います。
降雪時の遅延や欠航を減少させるため、除雪隊「雪戦隊なまはげ」による国内最速級の除雪を行います。

2 大館能代空港の概要

本空港は、県北部の北秋田市脇神に位置し、面積は約120ha、長さ2,000mの滑走路と計器着陸装置(ILS)などを備えています。

平成10年7月18日に開港し、就航路線は、東京の1路線となっています。また、空港周辺には緩衝緑地帯を活用した「ふれあい緑地」が整備され、センターハウス、クロスカントリースキーコース、展望台等の施設を備えています。



大館能代空港全景

◆空港施設の概要

設置者	秋田県知事	場周道路	長／5,423m 幅／5.5m
管理者	秋田県知事	駐車場	13,510㎡(386台)
空港の名称	大館能代空港	照明施設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	北秋田市脇神	無線施設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME (超短波全方向式無線標識／距離測定装置)
空港の標点	北緯40° 11' 31" 東経140° 22' 18"	庁舎管制塔	一式
空港の標高	84.0m	通信施設	一式
空港の種別	地方管理空港	気象施設	一式(風向風速・雲高・視程計等)
空港の総面積	1,214,240㎡	消防施設	40t水槽9基(化学消防車2台)
着陸帯	長／2,120m 幅／300m	防雪施設	除雪機械等一式
滑走路	長／2,000m 幅／45m	ターミナルビル	地上2階建一部3階建(4,062㎡)
誘導路	長／230m 幅／30m	貨物ビル	1棟
エプロン	長／225m 幅／110m(4バース)	給油施設	200kl／1基
排水施設	一式		

[令和4年度主要事業]

空港の機能維持のため、老朽化した除雪車両の更新や場周柵の改良を行います。